

# 三陸新報

三陸新報社  
〒988-0141  
気仙沼市松崎町228-100  
電話 0226 (22) 670000  
FAX 0226 (23) 6100  
URL <http://www.sanrikushimpco.co.jp/>  
e-mail [news@sanrikushimpco.co.jp](mailto:news@sanrikushimpco.co.jp)  
© 三陸新報社 2013年

読者サービス  
ペーパータイム  
TEL 0226-24-5566  
0120-100-450  
本吉営業所  
TEL 0226-31-4758

果たそう  
復興

## 民間が間伐材で発電事業

### 気仙沼 来春稼働 熱、電気を売却

間伐材などを活用した、木質バイオマスによる発電施設の建設が、気仙沼市内で計画されている。事業主体である民間会社の「気仙沼地域エネルギー開発」(黒町)は、木材チップを燃料に、熱と電力を同時供給するプラントを港町地区に建設する予定で、来年度の稼働を目指している。森林資源を有効活用した地域循環型の経済再生を目的として計画している。

## 木材購入は地域通貨も

同社は、市が半額補助の分譲改革工調整の委託を受けた緑務会の一環として、森林資源を再生した木材を再生可能エネルギーの購入に活用し、地元産の木材を再生可能エネルギーの購入に活用する。



間伐材の買い取り事業(昨年12月・早稲谷地内)

昨年、目伐林業家の買取り事業の実施、地域通貨の導入などシステム構築に向けた検討を重ねてきた。建設する木質バイオマス発電プラント(出力800キロワット)は年間を通じて稼働した場合は、一般家庭1760世帯分に相当する633万6千キロワットアワの電気が発電されるという。

同社では、市内で集めた間伐材(年間8千

ト)をチップにして燃料とし、熱は温泉施設などに供給するほか、電気は固定価格買取制度を活用して電力を売却する。完成後は、設計作業を進めており、国の事業認可などを待って、早ければ今年にもプラント建設に着手する。完成後は、設計作業を進めており、国の事業認可などを待って、早ければ今年にもプラント建設に着手する。完成後は、設計作業を進めており、国の事業認可などを待って、早ければ今年にもプラント建設に着手する。

施設の事業費は約18億円を見込んでいる。地元の気仙沼信用金庫や七十七銀行の金融機関が設備導入に向けた資金の融資を決めたほか、三菱商事復興支援財団も協力する。現在、設計作業を進めており、国の事業認可などを待って、早ければ今年にもプラント建設に着手する。完成後は、設計作業を進めており、国の事業認可などを待って、早ければ今年にもプラント建設に着手する。

は、近くにあるホテルの温泉施設に熱供給する計画。将来的には、災害時のエネルギー供給としても活用させた方が好ましい。同社が昨年12月に始めたスギやマツなど間伐材の買い取り実績(6日現在)では、市内の山林所有者や事業者から443ト(約260万円分)をすでに買い取った。このうち個人の買い取り分(1ト8千円)の半分を、試験導入した地域通貨「リネリア」で計132万2千円支払った。地域通貨は仮設商店街など184店舗で利用されており、木質バイオマスの発電事業は、未利用材を活用した林業の再生、地域経済活性化策としても期待が寄せられている。

気仙沼地域エネルギー開発の高橋正樹社長は「多くの市民の皆さんの協力なしにはできない事業。循環型のエネルギーとして気仙沼の復興の象徴になれば」と話している。